

1 地域おこし協力隊（3名）

(1) 上岡 雄晃（かみおか ゆうこう）

【活動開始日】

令和2年10月1日

【活動テーマ】

空き家や古民家の利活用や流通促進を図る業務

【活動拠点】

市内全域

【活動の概要】

- ・活用できる空き家情報の掘り起こし及び発信、提供
- ・空き家所有者と利活用希望者のマッチング
- ・空き家バンクの整備、普及促進

【令和4年度の主な活動実績】

- ・空き家の新規掘起こしと、空き家所有者への利活用の働きかけ、空き家・空き地バンクの運営をメインに活動。800件程度の物件を調査し、150名程の物件所有者に働きかけを行った。
- ・足利地区の宅建協会の研修会に講師として参加し、宅建業者向けに空き家・空き地バンクについての説明を行った。こうした取り組みの中、同バンクへの物件登録件数、成約件数ともに過去最高の件数となった。
- ・奈良県吉野町で開催された空き家の相談員育成講座に参加。実際に空き家の物件調査を行い、間取図の作成や活用方法を考察した。



(2) 島田 浩子 (しまだ ひろこ)

【活動開始日】

令和4年4月1日

【活動テーマ】

まちの魅力向上をはかる (アートを通じた足利の魅力向上)

【活動拠点】

大久保分校スタートアップミュージアム(大久保町)

【活動の概要】

拠点での定期的な展覧会やワークショップの企画、まちなかの古民家などを会場にしたアートイベント「アシカガアートクロス」の企画・運営などを通し、地域活性化に取り組む。

【令和4年度の主な活動実績】

- ・アシカガアートクロス2023開催に向け、作家やデザイナーとの打合せや現地調査などの準備を進めた。
- ・アシカガアートクロス特別ワークショップとして、アーティストの鈴木希果氏を招き「ヤギPoo陶芸プロジェクトin足利」を実施した。
- ・大学生インターンシップを受け入れ、アートによる地域振興の実例として活動の紹介や市内案内、意見交換などを行った。
- ・展覧会やワークショップを企画し、大久保分校スタートアップミュージアムにて開催した。



(3) 林 朝子（はやし あさこ）

【活動開始日】

令和4年4月1日

【活動テーマ】

まちの魅力向上をはかる（アートを通じた足利の魅力向上）

【活動拠点】

大久保分校スタートアップミュージアム（大久保町）

【活動の概要】

アーティストの経歴を生かし、拠点を中心に市内外の幅広い年齢層の参加者へのワークショップの実施や、大学生インターンシップの受け入れを行う。

【令和4年度の主な活動実績】

- ・拠点の工房においてシルクスクリーンをはじめとする版画制作を指導し、地域住民や市内外の方々に対して継続的に行った。
- ・拠点の展示室で秋山佳奈子氏とともに公開制作展を行い、アーティストが作品を創る各工程を地域住民等にご覧いただくことで、文化芸術に親しむ機会を提供した。
- ・足利工業高校産業デザイン科の課題研究をサポート。ワークショップの実施を支援するとともに、チャレンジショップで販売する商品制作のアドバイスを行った。
- ・キタナカモールどこでも収穫祭において木版リトグラフワークショップを屋外で実施し、地域の輪の中で、気軽に美術に親しんでいただく機会を提供した。
- ・移住セミナーに登壇。足利の良さや生活についてプレゼンテーションし、足利に関心を寄せる来場者との交流を図った。



2 集落支援員（2名）

(1) 後藤 芳枝（ごとう よしえ）

【活動開始日】

令和4年4月1日

【活動テーマ】

名草地区の地域活性化

【活動拠点】

名草craftセンター（名草中町）

【活動の概要】

高齢化や人口減少の進展に伴い、担い手が不足し空き家や耕作放棄地の増加など維持が困難になりつつある名草地区において、地域住民との対話を通じて地域の課題を抽出しその課題に地域住民と協働して取り組むなど、地域全体をコーディネートし活性化を図る。

【令和4年度の主な活動実績】

- ・お米づくりをやってみたい人たちを募り「なぐさお米会」を結成。名草集落営農組合の協力のもと、耕作放棄地を活用したお米作りを実施した。
- ・名草連合会長を講師に迎え、毎週土曜日の午前7時から名草ふるさと交流館を会場に「なぐさデ太極拳」の開催をスタートさせた。
- ・名草で活動する若い世代に声をかけ、「ちこっと収穫祭」を企画・開催した。
- ・名草でとれたお米、生姜、ウコン、椎茸を使った新名物「名草米のしょうが粥」の開発に携わり、地元農家さんとの連携を図った。
- ・使われていない柚子畑を農業体験の場として使えるよう、移住者の植木職人さんと整備を進めた。



(2) 早川 恵理子（はやかわ えりこ）

【活動開始日】

令和4年4月1日

【活動テーマ】

名草地区の地域活性化

【活動拠点】

旧 喜久屋（名草下町）

【活動の概要】

高齢化や人口減少の進展に伴い、担い手が不足し空き家や耕作放棄地の増加など維持が困難になりつつある名草地区において、地域住民との対話を通じて地域の課題を抽出しその課題に地域住民と協働して取り組むなど、地域全体をコーディネートし活性化を図る。

【令和4年度の主な活動実績】

- ・お米づくりをやってみたい人たちを募り「なぐさお米会」を結成。名草集落営農組合の協力のもと、耕作放棄地を活用したお米作りを実施した。
- ・名草連合会長を講師に迎え、毎週土曜日の午前7時から名草ふるさと交流館を会場に「なぐさデ太極拳」の開催をスタートさせた。
- ・名草で活動する若い世代に声をかけ、「ちこっと収穫祭」を企画・開催した。
- ・空き家となっていた元酒屋をコミュニティスペースとして活用するため、宇都宮大学の建築都市デザイン学科の学生と協働し、リノベーション作業を進めた。

